

「使用上の注意」改訂のお知らせ

2025 年 5 月

カルバペネム系抗生物質製剤

日本薬局方 注射用メロペネム

メロペネム点滴静注用0.25g「明治」

メロペネム点滴静注用0.5g「明治」

メロペネム点滴静注用1g「明治」

メロペネム点滴静注用バッグ0.5g「明治」

メロペネム点滴静注用バッグ1g「明治」

Meiji Seika ファルマ株式会社

東京都中央区京橋 2 - 4 - 16

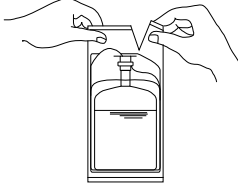

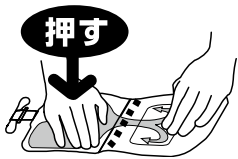
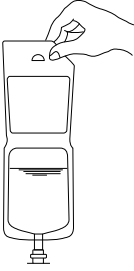
この度、標記製品の「使用上の注意」を改訂致しますのでお知らせ申し上げます。

今後のご使用に際しましては、最新の「電子化された添付文書」をご参照賜りますようお願い申し上げます。

I. 改訂内容（該当部分のみ）

改訂後			改訂前		
10. 相互作用 10.1 併用禁忌(併用しないこと)			10. 相互作用 10.1 併用禁忌(併用しないこと)		
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
バルプロ酸ナトリウム デパケン セレニカ	本剤との併用により、バルプロ酸の血中濃度が低下し、てんかんの発作が再発することがある。	機序は解明されていない。	バルプロ酸ナトリウム デパケン バレリン ハイセレニン 等	本剤との併用により、バルプロ酸の血中濃度が低下し、てんかんの発作が再発することがある。	機序は解明されていない。
14. 適用上の注意 14.1 薬剤調製時の注意 (バッグ) 14.1.5 薬剤部分のカバーシートをはがし、溶解液部分を手のひらで押して隔壁を開通させ、さらに溶解液部分を繰り返し押して薬剤を完全に溶解する。			14. 適用上の注意 14.1 薬剤調製時の注意 (バッグ) 14.1.5 添付の生理食塩液 100mL にて用時溶解する。		

_____ : 自主改訂による改訂箇所、 _____ : 自主改訂による削除箇所

改訂後	改訂前
<p>(バッグの溶解操作方法)</p> <p>① 使用直前に外袋を開封する。</p>  <p>② 本品を展開する。抗生剤部分のカバーシートをはがす。</p>  <p>③ 溶解液部分を手のひらで押して隔壁を開通させ、さらに溶解液部分を繰り返し押し続けて薬剤を完全に溶解する。</p>  <p>④ 溶解を確認する。開通確認シールをはがす。</p> 	<p>(新設)</p>

II. 改訂理由

自主改訂

●「併用禁忌」の改訂

バルプロ酸ナトリウム製剤の販売状況に合わせ製品名を改訂しました。

●バッグ製剤における「薬剤調製時の注意」の改訂

本剤は上室（抗生剤部分）、下室（溶解液部分）からなるバッグ製剤であり、使用前に隔壁を開通させ、溶解後投与する製剤です。薬剤調製時に必ず溶解操作をして頂きたく改訂しました。

ーお願いー

弊社医薬品にて副作用等臨床上好ましくない事象をご経験の際には、下記問い合わせ先又は弊社医薬情報担当者(MR)までご連絡の上、調査へのご協力をお願い申し上げます。

<製品に関するお問い合わせ先>

Meiji Seika ファルマ株式会社 くすり相談室 フリーダイヤル(0120)093-396 電話(03)3273-3539

PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」(<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html>)に、最新の電子化された添付文書が掲載されます。また、以下のGS1コードを専用アプリ「添文ナビ」で読み取ることで最新の電子化された添付文書等をご参照いただけます。



(01)14987222693452
メロベネム点滴静注用・バッグ

GVME202503